

京都大学大学院医学研究科博士課程
京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の開設について

京都大学大学院医学研究科では、平成 29 年 11 月 9 日付けで文部科学省より設置認可を受け、カナダのマギル大学と国際共同学位（ジョイント・ディグリー）プログラム「京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻（博士課程）」を平成 30 年 4 月に開設します。

ジョイント・ディグリーは、連携する大学間で開設された単一の教育プログラムを学生が修了した際、連携する大学が共同で単一の学位を授与するものです。

本専攻では、ゲノム解析において世界トップクラスの京都大学とマギル大学が緊密な連携のもとジョイント・ディグリープログラムを実施することで、互いの大学の特徴を活かした、相互補完的かつ単一大学では成し得ない質の高い教育研究を推進し、生命ビッグデータを活用した様々な解析技術を習熟し、今後の予防医学の発展に貢献できる人材の育成を行います。

本専攻のすべての学生は、京都大学とマギル大学の二重学籍を得て、それぞれの大学に 1 年以上滞在し、4 年間で京都大学開設科目 16 単位以上、マギル大学開設科目 12 単位以上、及び両大学による共同開設科目 2 単位の合計 30 単位以上を修得し、両大学の教員から研究指導を受けて英文の **thesis** 形式の学位論文を作成し、両大学合同で実施する学位審査に合格することにより、1 枚の学位記に京都大学とマギル大学の連名で、博士（ゲノム医学）の学位が授与されます。

【専攻の概要】

- ・ 専攻名称：京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻
（英文名称：Kyoto-McGill International Collaborative School in Genomic Medicine）
- ・ 修業年限：4 年（博士課程）
- ・ 学 位：博士（ゲノム医学）（英文名称：Ph.D. in Human Genetics）
- ・ 入学定員：4 名（京都大学、マギル大学それぞれを入学試験窓口とする学生各 2 名）
- ・ 収容定員：16 名
- ・ 教育方法：講義等で使用する共通言語は、国際通用性のある英語を用いる。在学期間中 1 年以上は、連携大学で履修・研究を行う。
- ・ 授業料等：学生は入学手続きを行う大学における授業料等のみを負担し、連携大学における授業料等は重複して負担しない。
- ・ 学生募集：平成 30 年 4 月入学生から募集する。

【マギル大学】

- ・カナダのケベック州モントリオール市に本部を置く。
- ・1821年に創立、1829年に設置されたカナダで最も歴史ある公立大学である。
- ・THE (The Times Higher Education) World University Rankings 2016-2017 では、第 42 位にランクされている。
- ・QS (Quacquarelli Symonds) World University Rankings 2018 では、第 32 位にランクされている。
- ・10 の学部で 300 以上の専攻分野を有し、国際的研究大学機関の一つである。
- ・フランス語圏のケベック州モントリオールにあるが、授業は基本的に全て英語で行われている。
- ・学生数は 40,000 人を超えており、そのうち約 23%が大学院学生、約 25%が留学生である。
- ・医学、化学の研究が有名で、これまでアーネスト・ラザフォードら 12 人がノーベル賞を受賞している。近年では、ゲノム医学研究において世界をリードしている。

(平成30年4月開設)

京都大学大学院医学研究科博士課程 京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻



目的・必要性



- ✓ 今後の医学研究の中心は、多種多様な生体内分子の時系列データを対象とするヒト生物学研究
- ✓ 我が国の生命ビッグデータ解析は、欧米と比して大きな後れ

- ゲノム医学分野で今後の予防医学研究を主導できる人材の育成
- 基礎医学研究の将来を担う指導者の育成
- 魅力ある大学院教育課程、プログラムの構築
- 大学院教育のグローバル化の推進

欧米のトップクラスの大学との連携によるトップグローバル人材の育成が急務



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



McGill

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻 (JD)

Kyoto-McGill International Collaborative School of Genomic Medicine

- ・ 課程：博士課程（4年制）・学位：博士（ゲノム医学）（英文名称：Ph.D. in Human Genetics）
- ・ 入学定員：4名（京都大学、マギル大学それぞれを入学試験窓口とする学生各2名）・収容定員：16名
- 【修了要件】
 - ・ 4年以上在学し、京都大学16単位以上、マギル大学12単位以上、及び共同開設科目2単位の合計30単位以上を修得
 - ・ 英文のthesis形式の学位論文審査に合格
 - ・ 京都大学及びマギル大学にそれぞれ1年以上滞在し、教育研究を行う

- ・ 統合オミックス解析
- ・ 世界トップレベルの統計遺伝学研究
- ・ 大規模ゲノムコホート試料、情報
- ・ 情報処理技術、解析理論開発

- ・ 世界有数のゲノム解析センター
- ・ CLSAコホート
- ・ ゲノム解析スーパーコンピューター
- ・ 疾患ゲノム解析・人類遺伝学的解析

- 双方の資源、高い研究力を活かしたヒトの老化や疾患に対するゲノム医学的検討が可能となり、一方の大学の教育のみではなし得ない
多分野・多領域にまたがる広い視野での指導
- 学位取得という明確な目標のもと、外国での教育・研究活動を通じた国際通用性の高い体系的な専門教育

養成する人材・期待される効果

- ✓ 生命ビッグデータを活用した様々な解析技術を習熟し、今後の予防医学の発展に貢献できる人材を育成
- ✓ 異文化適応能力や問題解決能力を養い、医学と人類の福祉の発展に著しく貢献できる国際的人材を養成
- ✓ 両大学の研究力ならびに教育力の国際的評価を獲得し、大学の国際的発信力と競争力の向上